

令和7年度 公開講座（短期課程）

コース No.	1 - 03		
コース名	人口が減少する変化・変動社会に向けた生産改善セミナー （2）生産管理の基礎		
担当科名	機械システム系メカトロニクス科	講 師	山口俊憲 (産業用ロボット特別教育インストラクター)
実施 日 時	① 令和7年6月18日（水） 18:00～21:00		
	② 令和7年6月25日（水） 18:00～21:00		
	③ 令和7年7月 2日（水） 18:00～21:00		
	④ 令和7年7月 9日（水） 18:00～21:00		
	⑤ 令和7年7月16日（水） 18:00～21:00（計15時間）		
募集定員	6人（最大10名程度）（最少実施人数2人）		
募 集 対 象	対象職種：不問（事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能）		
	受講に必要なレベル：不問（受講生の状況・希望に応じて 基礎から実施 ）		
目 標	生産計画の立案に向けた標準化・工数把握に必要なスキルを現場で活用できる。		
講 座 内 容	人口減少する変化・変動社会では、今持つスキルとは異なるスキルを追加し続けることが求められています。また、生産性向上に取り組むベースの一つに生産管理があり、この管理の手間をかけずに行うためには計画が重要となります。この計画の基盤となるのが、3S（整理・整頓・清掃）、見える化、標準化、工数把握などです。 本講座では、生産管理を行う上で基盤となる3Sや標準化などの考え方とその進め方について習得します。また、生産現場の現場を把握し、改善策を考える際に有効なIE手法（工程分析、稼働分析、動作解析）や生産方式の違い（セル生産、ライン生産）についても学びます。座学だけでなく、模擬生産ラインの分析・改善を通して、体験的に生産管理に必要なスキルを習得することができます。		
他 の コー ス と の 関 連 性	「人口が減少する変化・変動社会に向けた生産改善セミナー」の品質管理と生産管理の2つを受講することで、機械システム系の生産工学への出席を免除する。但し、試験やレポートの提出を求める場合がある。また、この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「生産管理」、「IE」等に関する講義・実習の受講を一部免除する。		
履 修 項 目	①生産とは何か、生産管理の視点から考える (2時間) ②生産方式への理解、セル生産とライン生産 (1時間) ③原価管理、原価計算、改善効果のコストへの反映 (1時間) ④3S、見える化、標準化、小ロット化 (2時間) ⑤IE手法（工程分析、稼働分析、工程改善、動作改善（OTRS）） (3時間) ⑥受講生が抱える課題の検討と模擬生産ラインを用いた実習 (4時間) ⑦生産シミュレータ（Flex Sim）の活用 (2時間) ⑧改善事例の紹介 (3時間)		
使用装置 ソフト・ 図 書 等	OTRS（動作分析ソフト）、FlexSim（生産シミュレータ）など		
必 要 な 持 ち 物	筆記用具		
受 講 料 費 用	受 講 料：6,900円（15時間コース）		
	自己負担：なし		
留 意 事 項 等	6つの講座からなる「人口が減少する変化・変動社会に向けた生産改善セミナー」は地域企業を中心に現場改善に取り組む一人の 教員 が全て担当しています。全て受講いただくと生産改善に必要な内容を網羅することができますが、それぞれ独立していますので 講座一つでも受講可能 です。一つだけ受講される方、複数講座を受講される方、様々いらっしゃいます。		